



メカニック用：ツナギ服の産業廃棄物から資源再生へ

ゴール12：つくる責任 つかう責任 持続可能な生産消費形態を確保する。

株式会社チクマ提携
マテリアルリサイクル
九州工場



東海地区スバルグループ
ツナギ服 合計373枚(約295kg)

名古屋 304枚

三重 47枚

岐阜 22枚

※資源化へ貢献しました

2022年度実績・年間3回発送

10%程度のロス発生 265kg資源

自動車 約53台分 相当

自動車整備士の仕事着が自動車部品へと繋がる取組み。

SDGs ゴール12

統括分名スより委託先へ発送→到着

マテリアルリサイクル
資源として再生される
までの過程

産廃として処分されていたツナギ服が、
自動車の部品として再生利用される
新たな道が出来ました。

反毛綿から自動車内装
吸音・吸収材へ再生します



1台あたり 約5kg利用

反毛機でワタ状に再生し反毛綿へ

粗裁断機で碎かれたツナギ服

破碎粗裁断機へ投入

